

企画展

写真で見る

半田の自然災害史



伊勢湾台風(昭和34年)



昭和東南海地震(昭和19年)



台風13号(昭和28年)



集中豪雨(昭和49年)



台風18号(平成3年)

令和3年

6/26_土 → 9/5_日

開館時間 10:00~18:00

休館日 6/28(月)、7/5(月)、12(月)、19(月)、26(月)、
8/2(月)、10(火)、16(月)、23(月)、30(月)

主催 半田市立博物館 協力 幸田町郷土資料館

学芸員によるギャラリートーク

日時 7月3日(土)・18日(日) 14:00~15:00
場所 博物館2階 特別展示室
定員 各回15名(先着順)
申込み 6月12日(土)10時から、電話で博物館まで。

起震車による地震の疑似体験

日時 7月11日(日) 13:30~15:30
場所 博物館エントランス前
定員 乗車人数は1回につき2名まで
※事前申込不要。雨天の場合は中止。



半田市立博物館 0569-23-7173
愛知県半田市桐ヶ丘4丁目209番地の1



伊勢湾台風(昭和34年)・山方町

未曾有の大災害となった東日本大震災から10年。日本列島に住む私たちにとって、地震や台風等による自然災害は避けられないものです。半田市においても、昭和東南海地震や三河地震などの地震災害のほか、台風13号(昭和28年)や伊勢湾台風、東海豪雨といった風水害も数多く発生しています。本展では、これまで半田市を襲った巨大地震や台風等による主な自然災害について、当時の記録写真や関係資料を中心に紹介します。

昭和東南海地震(昭和19年)

昭和19年(1944)12月7日午後1時36分頃、紀伊半島東部熊野灘沖を震源地とするマグニチュード7.9の巨大地震が発生しました。

半田市では、干拓地である山方新田・亀洲新田・康衛新田に被害が集中し、軍用飛行機を生産していた中島飛行機半田製作所の山方工場が倒壊。153名が死亡し、うち96名は勤労動員学徒でした。死者188名、負傷者286名、家屋の全半壊1,297戸に及ぶ激甚な災害であったにもかかわらず、戦時下の報道管制のため、被害の状況はほとんど報道されませんでした。



山方新田・東洋町

伊勢湾台風(昭和34年)

昭和34年(1959)9月26日午後6時過ぎ、超大型の台風15号(伊勢湾台風)が紀伊半島南端の潮岬付近に上陸。猛烈な暴風雨と高潮により、東海地方を中心に甚大な被害が発生しました。

半田市では、衣浦湾に押し寄せた高潮で各所の護岸堤防が決壊し、海岸地帯約13.72km²(全市域の約3分の1)が浸水しました。死者290名、負傷者664名、家屋の全半壊3,400戸、被災世帯は9,560世帯(総世帯の約70%)にのぼり、戦後の台風災害としては最悪の被害となりました。



山方町一帯

台風13号(昭和28年)

昭和28年(1953)9月25日午後6時半頃、台風13号が知多半島に上陸。暴風雨と高潮により各地で甚大な被害が発生しました。

半田市では、死傷者45名、家屋流出・全半壊121戸、床上浸水2,467戸、床下浸水627戸にのぼりました。



乙川吉野町



平地町4丁目・平地川付近

東海豪雨(平成12年)

平成12年(2000)9月11日～12日にかけて、東海地方で記録的な豪雨となり、各地で甚大な被害が発生しました。

半田市では、増水のため神戸川や平地川の水があふれ出し、半壊1戸、床上浸水288戸、床下浸水812戸にのぼりました。



集中豪雨(昭和49年)・名鉄駅構内



台風6号(昭和50年)・住吉町



台風17号(昭和51年)・乙川一色町



台風18号(平成3年)・成岩本町

ご来館のみなさまへ

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本展の会期や内容等に変更が生じる可能性があります。最新情報は、博物館ホームページをご覧ください。
- マスクの着用、検温、手指の消毒等にご協力ください。発熱や風邪症状のある方、体調のすぐれない方は、ご来館をお控えください。

半田市立博物館

〒475-0928 愛知県半田市桐ヶ丘4丁目209番地の1
TEL. 0569-23-7173 FAX. 0569-23-7174

